

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オーディオ・フォルクスワーゲン 厚本新築工事	階数	地上1階
建設地	神奈川県厚木市戸田字上ノ町252番1ほか11筆	構造	S造
用途地域	準工業地域 法22条区域、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,120時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年3月13日
敷地面積	4,785 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 下舞設計
建築面積	2,724 m <sup>2</sup>	確認日	2024年3月13日
延床面積	2,637 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 下舞設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.9

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.7

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 環境資源に配慮した建材 (F☆☆☆☆や再利用可能な部材) や設備機器 (節水や非燃焼器具) を取り入れ、かつ設備効率の良い機器 (LED等) を採用することで、環境負荷低減を総合的に計画している。	<b>その他</b> 特に無し	
<b>Q1 室内環境</b> 内装材全てにF☆☆☆☆クラスの材料を採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 売場天井高にゆとりを持っている。 給排水配管に、更新必要間隔の長い素材を採用している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 色彩等において周辺のまちなみや風景に調和をもち、緑地や空地を設け風通り等を設けている。
<b>LR1 エネルギー</b> 十分な外皮性能、省エネルギー性に配慮する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動給湯栓や節水型便器で、水資源保護に配慮する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 風下となる地域への風通しを配慮出来ている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される